

一般会計予算決算常任委員会
民生福祉分科会記録

平成30年2月22日

【開催日】 平成30年2月22日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後1時45分～午後3時10分

【出席委員】

分科会長	吉永美子	副分科会長	山田伸幸
委員	大井淳一郎	委員	杉本保喜
委員	恒松恵子	委員	松尾数則
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【分科会外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三		
健康福祉部長	岩本良治	健康福祉部次長兼障害福祉課長	兼本裕子
高齢福祉課長	吉岡忠司	高齢福祉課課長補佐	河上雄治
高齢福祉課主査	石井尚子	高齢福祉課高齢福祉係長	古谷雅俊
高齢福祉課介護保険係長	篠原紀子	障害福祉課課長補佐	岡村敦子
社会福祉課長	渡部勝也	社会福祉課課長補佐	池田康雄
社会福祉課主査兼生活保護係長	坂根良太郎	社会福祉課地域福祉係長	桑原睦
国保年金課長	桶谷一博	国保年金課主幹	安重賢治
健康増進課長	岩佐清彦	健康増進課技監	河野静恵
健康増進課成人保健係長	岡手優子	病院局事務部長	堀川順生
市民生活部長	城戸信之	市民生活部次長兼環境課長	深井篤
生活安全課長	吉村匡史	生活安全課課長補佐	亀崎芳江
生活安全課主査兼防犯交通係長	光井誠司	環境課課長補佐	湯浅隆
環境事業課長	川上公志郎	環境事業課主幹	木村清次郎
人事課長	辻村征宏		

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	議事係書記	原川寛子
------	-----	-------	------

【付議事項】

- 1 議案第1号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について（民生福祉分科会所管部分）

吉永美子分科会長 ただいまより一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会を開会します。本日は議案第 1 号平成 2 9 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 8 回）について審査をします。それではまず人件費に係る説明について人事課から説明をお願いします。

辻村人事課長 議案第 1 号平成 2 9 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 8 回）のうち、人件費全般に係る補正について説明します。今回の人件費の補正は、議案に挙がっています議案第 1 2 号山陽小野田市職員給与条例の一部改正、議案第 1 3 号山陽小野田市長等の給与に関する条例の一部改正、議案第 1 5 号山陽小野田市職員の退職手当に関する条例等の一部改正に伴うもの及び退職手当の増によるものです。職員の給与については、国の給与改正に準じて同様の改正を行っています。今年度、国は人事院勧告に基づき、職員の給料、勤勉手当を引き上げており、国に準じて職員の給料についても平均 0. 1 9 % 引き上げるとともに、勤勉手当についても支給月数を 0. 1 月引き上げています。お手元の資料、議案第 1 号参考資料、一般会計補正予算説明資料の 3 ページ目をお開きください。3 ページ目の一番下、総計で説明します。今お示しした議案の改正に伴いまして、一般会計全体では 4, 8 8 8 万 6, 0 0 0 円を増額し、補正後の額を 4 0 億 8, 2 0 8 万 5, 0 0 0 円とするもので、費目ごとの補正の内訳については、2 節給料については 3 4 0 万円の増額、3 節職員手当等については 4, 2 1 6 万円の増額、4 節共済費については 3 3 2 万 6, 0 0 0 円を増額するものです。

吉永美子分科会長 ただいま人件費に係る説明がありましたが、この人件費の民生福祉分科会の所管分で質疑があれば挙手を願います。

矢田松夫委員 民生費の中で任期付きの 3 8 が挙がっていますが、このうち保育士は何人で、それによる補正額は分かかりますか。

辻村人事課長 保育士の任期付きの人数は 3 3 名です。

山田伸幸副分科会長 あわせて臨時は何名いますか。

辻村人事課長 手元に正確な資料を持っていませんので、後ほどお調べしたい
と思います。

大井淳一郎委員 民生費で任期付き38のうち33が保育士ということですが、
残り5名はどんな方ですか。

辻村人事課長 栄養士と社会福祉課にいる就労支援員、家庭児童相談員と社会
福祉課の面接支援員です。

吉永美子分科会長 ほかにありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）お疲れ様でし
た。

（執行部入替え）

吉永美子分科会長 それではまず歳出の説明で健康福祉部に関する説明をお願
いします。

渡部社会福祉課長 健康福祉部の歳出に係る説明をします。36、37ページ
をお開きください。3款1項1目社会福祉総務費のうち、社会福祉課に係
るものは、23節償還金、利子及び割引料です。この156万8,000
円は平成28年度の生活困窮者自立支援費国庫負担金、補助率は4分の
3ですが、これの負担金の超過分を返還するものです。主な要因につい
ては、住居確保給付金の執行額が大幅に減額になったことです。

桶谷国保年金課長 続きまして、国保年金課分について説明します。同じペー
ジの28節繰出金のうち、上段、国民健康保険特別会計繰出金は503
万1,000円減額するものです。内訳は、給与改定に伴う職員給与費
等繰出金が56万9,000円の増額、出産育児一時金繰出金が560
万円の減額となっています。

吉岡高齢福祉課長 高齢福祉課分です。同じく繰出金、下段です。介護保険特
別会計繰出金488万8,000円の減額です。内訳としては保険給付
の決算見込みによる市負担分の250万円の減額、地域支援事業の決算
見込みによる市負担分の200万3,000円の減額、事務費繰入金の
減額による115万7,000円の減額、人件費の調整による77万

2,000円の増額です。

兼本健康福祉部次長 障害福祉課関係分について説明します。38、39ページをお開きください。2目障害者福祉費の総額17億9,948万1,000円から2,000万円を減額して、17億7,948万1,000円にするものです。当初予算額の執行状況を確認する中で、決算見込額をもって、今回の補正額を算出しています。内訳としましては、20節扶助費2,000万円の減額は、福祉医療助成費の決算を見込んだ減額です。

吉岡高齢福祉課長 3目高齢者福祉費1,100万円の減額は、養護老人ホームの入所に係る老人保護措置費のうち、職員の勤続年数による加算額が少なくなる見込みであること、入院などによる施設の退所等により実績を見込んで減額をするものです。財源内訳の特定財源のその他80万円の減額は老人保護措置費の減額に伴う入所者の本人負担分の減額となります。

桶谷国保年金課長 続きまして、4目後期高齢者医療費は122万4,000円減額し、補正後の額を11億3,608万9,000円とするものです。内訳は28節後期高齢者医療特別会計繰出金を122万4,000円減額するもので、内容は事務費等繰出金を105万9,000円減額し、給与改定に伴う職員給与費等繰出金を10万2,000円増額し、保険基盤安定繰出金を26万7,000円減額するものです。このうち、保険基盤安定繰出金は県の特定財源がありますので、こちらも調整しています。

渡部社会福祉課長 3款1項6目福祉センター運営費についてです。まず12節役務費は手数料5万4,000円を減額するものです。これは中央福祉センターの耐震診断に係る評価手数料が当初見込んでいた32万4,000円から27万円に減額されたことによるものです。続きまして、13節委託料はただいま説明した中央福祉センターの耐震診断に係る委託料で、入札減により364万円の減額となったものです。

40、41ページ、3款1項9目臨時福祉給付金費、23節償還金、利子及び割引料1,103万円は、平成28年度臨時福祉給付金に係る国庫補助金の超過分を返還するものです。このうち、事業費については

45万円ですが、これは最終の補助金申請時において、若干の余裕を見ていたことによるものです。また事務費については1,058万円となっていますが、主な理由としては、システム開発料が432万円、人材派遣委託料が約544万円、当初見込みより少額となったものです。

42、43ページ、3款3項1目生活保護総務費、23節償還金、利子及び割引料8,000円は、平成28年度の生活困窮者自立支援費国庫補助金の超過分を返還するものです。これは生活保護係に配置している、先ほども出ましたが面接支援員、警察OBの職員の人件費が補助金協議時から減額となり、生じた返還分です。続いて、3款3項2目扶助費、20節扶助費8,000万円の減額ですが、生活保護受給者数の減少に伴いまして、不用額が高額となる見込みの扶助費を減額するものです。23節償還金、利子及び割引料7,488万1,000円は平成28年度の生活保護事業に係る国庫負担金の超過分を返還するものです。これは平成28年度の生活保護受給者数の減少により不用額が生じたものに係る国庫負担分です。

岩佐健康増進課長 それでは健康増進課分について説明します。44、45ページをお開きください。4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費の28節繰出金3億5,017万2,000円のうち、病院事業会計繰出金3億5,000万は議案第9号山陽小野田市病院事業会計補正予算にも挙げていますとおり、病院事業会計への繰出金に係る補正です。続きまして、4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費について説明します。13節委託料2,098万6,000円の減額は、予防接種委託料1,032万2,000円、健康診査委託料1,066万4,000円、それぞれ決算を見込んで減額するものです。

渡部社会福祉課長 債務負担行為の補正について説明します。8ページをお開きください。生活困窮者自立支援事業の債務負担行為の変更です。生活困窮者自立支援法に基づき、現在実施している委託事業ですが、必須事業の生活困窮者自立相談支援事業と任意事業の生活困窮者就労準備支援事業の2事業を平成30年度以降も実施するに当たり、平成29年度末、今年度末にプロポーザルの実施を予定しています。委託料の算定に当たり、これまで見積もっていた相談支援員や就労準備支援員の人件費が臨時職員の賃金程度でした。現在委託している事業所から提出された人件費の見積り等を当課で再検討して、業務量や業務の難易度、重要性など

を考慮して、支援レベルを維持するためにも任期付職員程度の賃金が妥当ではないかとの判断をして、人件費の見直しを行った結果、委託料限度額の増額となりました。生活困窮者自立相談支援事業の委託料限度額を784万3,000円から852万2,000円に、生活困窮者就労準備支援事業の委託料限度額を266万円から333万8,000円にそれぞれ変更し、限度額の合計を1,050万3,000円から1,186万円とするものです。

吉永美子分科会長 執行部の説明が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。それでは36、37ですね。人件費以外のところで。38、39ページ。

大井淳一郎委員 福祉センターの運営費で、耐震診断委託料入札減なんですが、Is値は分かりますか。

渡部社会福祉課長 今手元に資料がないものですから、後ほど持ってきます。

山田伸幸副分科会長 赤崎福祉センターと中央福祉センターの風呂が故障していたわけですが、それはここには反映されていないということですね。

渡部社会福祉課長 ここには反映されていません。「決算で出るか」と呼ぶ者あり）予備費で対応しています。

吉永美子分科会長 40、41ページ。

山田伸幸副分科会長 臨時福祉給付金のもらい過ぎていたものを返還されるということですが、対象者に対して結局何パーセントぐらい給付されたんですか。

岩本健康福祉部長 該当分で申し上げますと87.9%程度となっています。

山田伸幸副分科会長 対象者に漏れなく行っているとは思いますが、十数パーセント、12%ぐらい来ていない原因は何か考えられますか。

渡部社会福祉課長 給付率の関係ですけども、支給率は高齢者向け給付金と障

害・遺族年金向けの給付金とが今回の対象となっているんですけども、高齢者向け給付金のほうが支給率は95.9%です。障害・遺族年金向けのほうが88.54%、これは対象者数が少ないんですけども、349人の対象に対して、支給決定されたのが309人ということで、88.54%となっています。

吉永美子分科会長 これほどのように努力してきたんですか。もらうべき人がもらえるように。

池田社会福祉課課長補佐 まず広報紙に呼び掛けで1回ほど掲載しています。それと28年度の課税について該当者と思われる方々には漏れなく申請書は郵送しています。あとホームページにも掲載しています。実際に締切り間際には、提出していない方には再度申請書を送付して申請について促しているところです。

吉永美子分科会長 「今ここにいません」と戻ってきたものはないということですね。

池田社会福祉課課長補佐 それについては調べられる限りについて調べて、再送付はしているんですが、どうしても宛所に尋ね当たらない場合にはいかんともし難いところがあったと思います。宛所が不明で送達できなかったというのはそれほど件数はないと思います。

吉永美子分科会長 それほど件数がないというのは何件あったんですか。

池田社会福祉課課長補佐 確認はしていません。

吉永美子分科会長 担当としてそこはきちんとつかんでおくのではないですか。国からもし聞かれたときとか、答えようがないのではないですか。

池田社会福祉課課長補佐 件数は当時把握していなかったと思われます。その辺の状況は申し訳ないですけど、私は4月から経済対策分については従事しているんですけど、28年度の給付金についてはそのところは確認していませんので、ちょっとお答えできません。

吉永美子分科会長　じゃあ誰も知らないということですか。

池田社会福祉課課長補佐　と思われます。

吉永美子分科会長　これって審査をする中の内容ですよ。返すんだから、当然何人の方が該当しているのにもらっていないんですかとか質疑が入るのは想定されるものですよ。そんな中で送ったという答弁が出たときに、届いていないという人はいなかったんですかって想定できますよね。

渡部社会福祉課長　今細かい数字は把握していませんので調べてまた後ほどお答えします。

吉永美子分科会長　42、43ページ。

山田伸幸副分科会長　先ほど扶助費で受給者が減と言われたわけですが、具体的に前年と比べてどの程度減っているんですか。

渡部社会福祉課長　被保護人員でみると、平成28年4月現在が906人です。29年4月が859名です。直近の30年1月が803名です。

吉永美子分科会長　自立していかれるのはとてもいいことなんです。いい方向で減っていればすごくいいことだと思うんですけど、かなり減っている要因は何ですか。

渡部社会福祉課長　開始件数が、申請件数もですが、平成27年度が60件、平成28年度が52件、平成29年度1月末までで44件。ですので、開始はほぼ横ばいかなという感じを持っています。それに対して廃止件数が平成27年度は62件、平成28年度が72件で、平成29年度1月末までで73件と、若干廃止件数のほうが上回っているというのが全体の保護人員も減っている原因ですけども、そのうち、就労収入の増加あるいは取得による廃止がほぼ3割、30から33%ぐらい、28年度も29年度も同じぐらいの割合で廃止の理由となっています。廃止の理由の構成比で見たときに死亡・転出が4割前後で推移していますので、ほとんど変わらない状況です。就労収入の増加、取得というのが最近増えていて、これによる廃止が一番大きな要因だと考えています。

吉永美子分科会長 足すと100に行かないんですけど。

渡部社会福祉課長 それ以外は年金の増加だとか、仕送りの増加、あとは犯罪等で捕まったとか、そういう方も結構います。それで廃止というのもあります。

吉永美子分科会長 仕送り増というのはアドバイスとかする中で、家族で少しでも支えようという人が少し増えてきたというところもあるんですか。

渡部社会福祉課長 仕送り増についてはそんなに多くないんですけど、三、四件ぐらいだろうと思いますが、あと本人の年金の増加というのが大きいかなと思います。平成29年8月から年金の受給権が300月から120月に変更されたので、それで確かに120月でもらえる額というのは少ないんですけども、実際に申請をしたときに新たな年金記録が見付かって、実は300月あって遡及金まで入ってきて廃止になったというケースが数件ありますので、今回そういった年金の改正があったおかげで何件かそういった新たな年金記録が見付かって、廃止になったケースもあります。

山田伸幸副分科会長 問題は本当に受給しなければ生きていけない人たちにきちんと受給金額が渡されているかどうかということですけど、窓口だけで判定はなかなか難しいと思うんですけど、希望された方は全員申請受付されているんですか。

渡部社会福祉課長 まず相談を受け付けます。相談で話を聞く中で、制度をいろいろ説明し、申請の意思があるかどうかの確認をして、申請の意思のある方については申請書をお渡ししています。

山田伸幸副分科会長 それと1件聞いたんですけど、訪問調査のときに女性の独居の方は男性が来ると非常に怖いと言われるんですよね。精神的にも病んでいて、すごくおびえていたんですね。以前から女性の指導員の活用が必要ではないかと思っているんですが、どう考えていますか。

渡部社会福祉課長 これは前回も少しお話ししましたが、女性のケースワーカー

一については、2年間ほど1名いた時期があったんですが、その後女性のケースワーカーがゼロになって、後退したと我々思っているんですが、人事当局には毎年要望を出しています。ケースワーカーは今現在8名ですが、できれば女性は2名ぐらいいは欲しいので人事ヒアリングのときに要望はしています。

桑原社会福祉課地域福祉係長 先ほどの中央福祉センターの耐震診断のI s値についてお答えします。I s値については横方向及び縦方向について1、2階の検査結果が出ています。横方向1階についてI s値が0.35、2階が0.43、縦方向については1階が1.11、2階が1.46という結果が出ています。I s値が0.6以上あれば充足しているという判定となっています。

大井淳一郎委員 その結果を受けて耐震工事ということですが、当初予算でも挙がってきているのかもしれませんが、現時点でどのような工程で考えているのですか。

桑原社会福祉課地域福祉係長 このような結果が先日成果品として出ましたので、今後この結果に基づき耐震工事を検討という形になろうかと思っておりますが、中央福祉センターが指定管理を行っている関係もあって、その辺を考慮しながら今後検討していきたいと思っております。

大井淳一郎委員 指定管理者が負担するものではないですよ。市が負担ということですよ。そこを確認したいと思います。

桑原社会福祉課地域福祉係長 工事自体は市で行う形になります。あくまで指定管理はその施設を管理してもらうものになりますので、そこは分けて考えています。

山田伸幸副分科会長 今のI s値を聞いて、緊急的な対応が必要だと思ってるんですか、若干余裕があると考えているんですか。

岩本健康福祉部長 中央福祉センターの耐震については横方向が0.6以下ということで厳しいという状況を報告しましたが、この結果については今般出たばかりですので、今後の対応について十分検討したいと思います。

ただあそこについては、社会福祉協議会の事務局で、市内の福祉の拠点となっていて、その他の団体の多数の利用もあるので、すぐ代替施設というわけにもいかない状況にはあると思いますので、そこを十分踏まえながら、ただ安全性については早急に確保する必要があるので、そこを両にらみとなりますけど、確かに危険性はありますが、背に腹は代えられない状況にもあるので、今後しっかり検討したいと思っています。

山田伸幸副分科会長 かなりたくさんの方が行かれるんですね。風呂のときによく分かったんですけど、本当に地域の皆さんが、かなり遠いところからも出掛けて、楽しみにしているんですけど、もし仮に耐震工事となると、どうするのかというのが非常に大きな課題になってくると思うんです。せっかく風呂は直したけど、また使えんようになったということでは、市民からかなり苦情が寄せられるんじゃないかなと思うんですけど、そういった使用形態がある、使用人数も多いということで、かなり慎重な対応が必要だと思うんですけど、これは福祉部だけの対応ではないと思うんですよね。その辺でどういう検討がされるんですか。

岩本健康福祉部長 個別の施設の今後の計画を全庁的に調査している段階ですので、その中で今後の方向性について見出していきたいと思っています。

古川副市長 公共施設の再編計画を作っています。来年度から個別の計画を作っていくようになると思います。その中でこの施設だけでなく、あらゆる施設について、基本的には長寿命化になろうかと思いますが、今後そういう対応を取っていきたいと考えています。

吉永美子分科会長 それでは44、45ページ。

山田伸幸副分科会長 先ほど病院のところでもかなり議論したんですけど、病院会計の繰出金ですね。3億5,000万円というかなり多額の金額になっているんですが、病院から示された内容というか、繰り出すに当たってどのように検討されたのか、その検討状況についてお答えください。

岩佐健康増進課長 取っ掛かりについては病院局と財政課とで話をしたと思いますが、私ども12月頃に加わりまして、今年度29年度から引当金が参入されて資金不足比率を出さなくちゃいけないと。29年度から資金

不足が生じるということでした。表にしてもらって、29年度から32年度ぐらいまで現在のままであれば資金不足が生じると。この資金不足を解消するためにはどのような状況があるかということで、3億5,000万という数値をはじき出したところでした。その使い道については病院が今後資金不足のないように3億を一時借入、5,000万を現金として保有するというところで話をした中で、財政課と私ども健康増進課とともに入って協議をしたところでした。

大井淳一郎委員 その協議の回数とか、その際の財政からの指摘事項、いいですよってすんなり行くわけないので、その辺りのことが分かる範囲で。

岩佐健康増進課長 私どもは12月、1月に二、三度は参加しているところです。そのときに出たのが引当金が入ることは分かっているながら、それに見合うほどの経営努力はしているのかということで、大分財政課も私どもも確認はしたところでした。実際に収益は上がっているものの、届かなかったということは病院からも話があったところでした。今後も収益を上げるために病院局も努力するというところだったので、このように3億5,000万を挙げています。

大井淳一郎委員 収益を上げますよと、当然言うのは言うんですが、何か具体的にこういった形で収益上げていく、あるいは支出を減らしていくといった何か成果物を示した上でちゃんと説明があったんですか。

岩佐健康増進課長 民間のコンサルタントを入れた中で、各部署の見直しを図ったということも聞いています。来年度に眼科を上げなければならないということもその一つだと思っています。また現在29年度以降であれば使用する薬品の仕入れについてもいろいろと努力しているという話は聞いているところです。

大井淳一郎委員 病院局の説明によると、新病院改革プランを示したと聞いているんですが、それは間違いはないですか。

岩佐健康増進課長 病院局も今決裁中だと思います。合議をしながらやっていますので、案の段階でも私どもも見せてもらっているところです。

山田伸幸副分科会長 先ほどの病院局との意見聴取の中で、私たちはより細かい分析、診療科ごとの計画と達成状況はどうかとか求めたんですけど、残念ながら答えがなかったんですよ。私たちでさえそういう観点を持つんですけど、財政当局ではないのでなかなか答えづらいかと思うんですが、そういった細かい経営分析ですね。その辺をきちんとした上での決定かなというのもちよっと疑問に思ったんですが、いかがですか。

岩佐健康増進課長 言われるとおり、私ども財政のプロでもありませんので、詳しくは分からない部分はあろうかと思えます。ただ病院の外来の人数等については、実績の中からはじき出したものだと聞いていますので、そのような状況の中で私ども判断したところです。

矢田松夫委員 基本的に経営改善そのものは示されたんですか。お金をくださいって言ったときに。

岩佐健康増進課長 経営改善の算定表も示してもらいながらやっているところです。

大井淳一郎委員 本会議でも確認の意味で質問があったんですが、今回の基準外繰出しは今回限りということで、病院局の説明によると、今後は不良債務は発生しないということですので、そのような基準外繰出しはないと原課及び財政課は考えているということでしょうか。

岩本健康福祉部長 今回の3億5,000万というのは市の財政にとっても非常に大きな意味を持っていると思いますので、今後はこういう事態をできるだけ避けていかななくてはならない。当然独立採算の中でやっているわけで、ただそうはいいながら福祉の増進というのも目的の一つとしてあるので、それがまた今回こういった特別な配慮といいますか、災害に準じた形での補助金を出すという理由になっていると思っていますので、今のプランで出されている範囲でいえば、当然ないと考えているところです。それ以上は申し上げられないかなと思っています。

大井淳一郎委員 私たち別に病院を責めているとかではなくて、むしろちゃんと存続してほしいからこそそのようなことを言っているわけですので、市も経営会議に入っていると思われしますので、しっかりと今後も注視し

てもらいたいと思います。

山田伸幸副分科会長 やるべき努力がされているか、確かに福祉的な側面、あるいは不採算部門を抱えざるを得ない側面、いろいろあるんですけど、それはそれでいいと思うんです。やはり市民病院を持つ山陽小野田市として、市民病院がどういう経営であるのか、例えば診療科ごとの患者数の把握とか、あるいは医業収益がどのようになっているのか、その辺を今回私たちも求めたんですね。残念ながら局長は「私は知っているけど、皆には明らかにしていない」という言い方で、チームとしての市民病院として機能していないんじゃないかということのを非常に危惧したわけです。それでよしとした方もいるわけですけど、やはり今後私たちは議会報告会の中で当然こういった報告もせざるを得ないし、そういったときに市民から議会はそんなことで3億5,000万円の拠出を認めるのかという言い方も必ずされるんですよ。ですから私たちとしてはそれに納得できるような理由付けがどうしても求められるんです。逆に言ったら市の財政から3億5,000万を繰り出すときにも市民からのそういった質問に耐えられるような内容であったかどうかということのを心配しているわけですけど、先ほどから聞くと、そういう細かい財政分析は求められていないと判断せざるを得ないんですけど、その点はいかがですか。

古川副市長 今るる質問がありました。先ほど大井委員の質問にも部長が答えましたが、やはり独立採算性ということで事業管理者を置いて、独自で入りと出を確保していくというのが筋ですが、やはり地域の中核医療を担うということで、執行部も基準内繰出しは当然でしょうけど、基準外ということで今回もしております。今言われたように今後収益を上げる中で、眼科に特化するとか、労災病院が産科がなくなった関係で産科も結構収益を上げています。総合病院と言いながら、今後は特化していく経営手法も取っていますし、市の財政担当、企画担当も病院の経営の中に入っていますので、今後は十分注視しながら、この3億5,000万がちゃんと生かせるような形でこちらも見たいと思いますし、いろいろ数字ももらう、また今回経営診断も受けていますので、それに基づいて着実に進むように私どももよく見ていきたいと考えています。

吉永美子分科会長 ちょっと予防費で聞きたいんですけど、予防接種委託料、健康診査委託料とも決算を見込み減ということなんですが、これは予防

接種を受ける人が減ったり、健康診査を受ける人が減ったりという実態がありますか。

岩佐健康増進課長 予防接種委託料ですが、子ども全体の数が私どもが見込んだほど人数がいなかったということです。ヒブワクチンと小児肺炎球菌ワクチンを例に出すと、全体で500人いるだろうということで考えていました。4回打つので、1回の費用も高うございます。全体の数と言いますが、460人程度しかいなかったのが事実です。対象者460人のうち96%の方は接種していますので、おおむね私どもで打ってほしいという子どもには行き渡っていると思います。まだ打っていない方が4%程度いますが、その方には再度勧奨しながら進めていきたいと思っていますところ。次に健康診査委託料です。胃がん検診について2年に1回の受診になったところ。昨年度から2年に1回になって、昨年と同様の人数が受けてもらえるものだと思いましたが、そこまで同じ人数ほど受けてもらえなかったのが、まず一つです。もう一つ大きな原因としては、子宮がん検診において、コルポという拡大鏡を持って検診をする、医師が必要と思ったときにはその検診をするシステムもあります。それを実は産婦人科の先生方と28年度に協議をして、やることあるということで280件程度予算化したところ。ただ開けてみたら29年度実績が1件もなかったの、一般的な子宮がん検診については受けてもらっているんですが、コルポによる検診がなかった、それで大幅に減額をしなければならなかったということです。がん検診全体的に見ると、少し減少傾向といえますか、胃がん検診が2年に1回になったということで、ほかの検診も含めて2年に1回という思いを持っている市民の方もいるのではないかという話が先般、小野田医師会や厚狭郡医師会の先生方と話す中で、出てきたところ。私どもの啓発の仕方のまずさもあるかと思いますが、それのないように来年度以降も努力したいと考えているところ。

吉永美子分科会長 新年度の予算でまた聞きたいと思います。それでは債務負担行為に係る説明、8ページですね。

大井淳一郎委員 この任期付職員というのはあくまでも現役世代ということで、職員のOBとかではないですね。

渡部社会福祉課長 今現在市で採用している任期付職員の人件費程度を見込んでいます。

大井淳一郎委員 詳しい年齢はいいですが、あくまでも現役世代ということですよ。再任用とかじゃないですよ。

渡部社会福祉課長 そういうことではありません。

山田伸幸副分科会長 これは何名充てているんですか。

渡部社会福祉課長 生活困窮者自立支援事業は、主任相談支援員1名ともう1名の相談員の2名の人件費が入っています。生活困窮者就労準備支援事業は、1名の人件費。「3名」と呼ぶ者あり）いや、1名です。事業は別々ですが、2名と1名ということです。

吉永美子分科会長 よろしいですか。先ほどのお答えがまだの分はまた後でもらいたいと思います。これまでの分については質疑を閉じたいと思います。これから50分まで休憩します。

午後2時42分 休憩

午後2時50分 再開

吉永美子分科会長 休憩を閉じて民生福祉分科会を再開します。先ほどの分科会の中でお答えが後でと言った部分をお願いします。

辻村人事課長 先ほど臨時職員の人数というところで、保育士の人数は27人です。

池田社会福祉課課長補佐 先ほどの不到達の件数ですが、高齢者向けについては60件ということです。加算についてはありません。

吉永美子分科会長 60件は戻ってきたと。

池田社会福祉課課長補佐 住基情報等で転出等が後に確認されて、到達したも

のもあるんですが、どうしても住民票そのままにされていて、行方が分からない方というのは、いかんともし難いところがあるので、これらの方々については不到達ということで処理しました。

矢田松夫委員 今の関係は郵便の処理をした結果、60件ということですか。確認したのは。

池田社会福祉課課長補佐 住基情報が更新されたものについて、新たに宛所が判明したもので郵送した場合に届いたものを除いた、住民票はそのまま置いていて、宛所に尋ね当たらないということで郵便が返ってきたのが60件ということです。

(執行部入替え)

吉永美子分科会長 それではただいまより市民生活部関係の歳出に関する説明をお願いします。

吉村生活安全課長 生活安全課です。補正予算の説明をします。予算書24、25ページをお開きください。2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、13節委託料の調査委託料1,339万7,000円の減額のうち、73万8,000円の減額は空家等対策調査業務委託の入札減によるものです。24ページを御覧ください。またこの事業は社会資本整備総合交付金を充てていますので、事業費の減額により国庫支出金36万8,000円を減額しています。

深井市民生活部次長 環境課に係るものについて説明します。44、45ページをお開きください。4款1項1目保健衛生総務費、28節繰出金のうち、水道事業会計繰出金を17万2,000円増額するものです。これは、水道局職員の児童手当に係るもので出生により対象者数が2名増加したことによるものです。次に46、47ページをお開きください。4款1項5目環境調査センター費、18節備品購入費は、621万3,000円を減額するものです。この理由は、原子吸光光度計を入札により購入して、この入札により生じた残額を減額するものです。その下の7目新火葬場整備費、13節委託料253万7,000円の減額は、施工監理業務委託の入札による残額を減額するものです。48、49ページです。

15節工事請負費3,186万8,000円の減額は、建築主体・電気設備・機械設備の三つの工事の入札により生じた残額を減額するものです。なお、今年度は委託料及び工事請負費ともに前払金相当額を支払うこととしています。

川上環境事業課長 続きまして、環境事業課関係の説明をします。歳出の48、49ページです。4款衛生費、2項清掃費、2目塵芥処理費4億5,030万3,000円を621万円減額し、4億4,409万3,000円とするものです。その内訳については、18節備品購入費のうち、機械器具費を621万円減額補正するものです。これは、平成30年1月に購入した特殊車両のホイールローダに係る入札減によるものです。

吉永美子分科会長 それではまず24、25ページの調査委託料ですね。

大井淳一郎委員 空家の実態調査と思われそうですが、入札減なんですが、この実態調査はもう来年度も含めて当面しないということですか。

吉村生活安全課長 計画の見直しのときにやりたいと考えています。

大井淳一郎委員 分かる範囲でいいんですが、いつぐらいですか。

吉村生活安全課長 5年後です。

山田伸幸副分科会長 この調査で得た情報というのは今どういうふうに活用されているんですか。

吉村生活安全課長 この調査は2月28日までが工期となっていて、予定では27日に業者が成果品を納入するということで話が詰まっています。今後納品されたデータについては、このデータを基に協議会の中で活用していければと思っています。

大井淳一郎委員 空家対策協議会第2回で示された1,600何がしなんですが、変動があったんですか。それから活用についてですけど、当然当面は協議会の中で活用してもらえればいいんですが、こうしたせっかくの数値なので、これを他の部署にもデータとして活用すべきだと思うんで

すが、その考えには変わりはないですか。

吉村生活安全課長 今言われましたようにせっかくした調査なので、連携できる数字として活用していければと思っています。また数字については、中間報告から若干動いたという数字はもらっているんですけども、正式に納入されていませんので、数字が出たらまた報告することになると思いますので、そのときはよろしくお願いします。

大井淳一郎委員 第3回協議会が3月にありますけど、そのときには出てくるということによろしいですか。

吉村生活安全課長 3月には出せると考えています。

吉永美子分科会長 なければ44、45ページ。46、47ページ。

大井淳一郎委員 監理委託料の工事請負費入札減ですが、予定どおり進んでいますか。聞くところによると理科大のあおりを受けて、ちょっと工事がうまくいっていないということもあるやに聞いていますがいかがですか。

深井市民生活部次長 契約が建築主体と電気工事については9月の議会後に契約して、機械設備工事については11月に入札をして契約という運びになっていました。工事については、当初計画ということで、業者から工程表を出してもらっていますが、おおむね工程表のとおりに進んでいる状況です。

大井淳一郎委員 私も含めて新しく入ってきた委員もいるので、新年度予算のときにこの火葬場全体の工程表を示してもらうようにお願いします。

吉永美子分科会長 48、49ページ。

大井淳一郎委員 塵芥処理費の機械器具費ですが、このホイールローダというのは何ですか。

川上環境事業課長 今資料を配りましたが、環境衛生センターのリサイクルプラザの横に古紙のストックヤードがあります。そのストックヤードに古

紙、ダンボール、新聞等があるんですが、それを資源ごみとしてトラックに運んで、販売するわけですが、トラックに積み込むための重機です。

大井淳一郎委員 当然有用な車両だとは思いますが、これってこのたび初めて買ったのか、それとも更新ということですか。

川上環境事業課長 更新です。以前のホイールローダが平成5年9月に購入したもので、もう25年近くたっています。結構欠陥が出ていて、その関係でこのたび平成29年に予算要求して新車を購入したものです。

山田伸幸副分科会長 621万減ということは、予定価格は幾らだったんですか。

川上環境事業課長 予算が1,625万4,000円でした。入札額が1,004万4,000円の差額621万円になっています。

杉本保喜委員 今まで使っていたものと同程度のものに替えたんですか。

川上環境事業課長 若干サイズが大きくなっています。性能はアップしています。

山田伸幸副分科会長 これは場内だけで公道には出ないということですね。

川上環境事業課長 そうです。場内だけで使用する予定にしています。

吉永美子分科会長 それでは説明があった全体の中で質疑はないですか。それでは質疑が終わりましたので、本日の民生福祉分科会を閉会します。

午後3時10分 散会

平成30年2月22日

一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会長 吉 永 美 子